

東地協ニュース 2014.6 第26号



ごあいさつ

会長 網代 稔

先ごろ開催されました第30回通常総会において、前早田会長の後を受け新会長に選任されました「網代」でございます。なにとぞよろしくお願いいたします。

総会の議事進行が会員各社様のご理解・ご協力のもと無事に終了することができましたことを、改めて御礼申し上げます。

さて、当協会の歴史を見ますと、

昭和60年 4月 関東地質調査業協会 東京都支部として発足

平成10年 10月 社団法人の許可を受ける

平成23年 4月 一般社団法人に移行

平成25年 6月 東京都との防災協定締結

諸先輩方のご苦勞と、会員各社のご理解・ご協力により着実な成長を遂げてまいりました。ただ、会員数に関しましては法人格取得の平成10年に70社を数えましたが、その10年後に38社、一般社団移行時が25社、現在では22社と減少を繰り返しております。要因としては、この時代「公共事業悪玉論・コンクリートから人へ」と叫ばれ、公共事業削減から景気低迷となった時代背景がかなり影響したもので、皆さんもご承知の事と存じます。

しかし時代は変化しました。未曾有の災害となった「東日本大震災」を契機に社会資本の整備・再点検の重要性、今後起こるであろう天災の「減災」に向けた先行的な取り組み、現政権の掲げる「国土強靱化計画」の推進等々であります。

このような状況を反映し、「地質調査業界には追い風が吹いている」「現在の社会情勢より仕事は着実に増える」と言われております。加えて、昨年東京都と締結した「災害時における設計・測量・地質調査等の応急対策業務に関する協定」により、復旧・減災への活用に向けた整備がなされました。今こそ、当協会の掲げる「都民の防災と地盤・環境保全に貢献する」を、さらに大きく広げる機会と位置づけ、会員増強に向けた取り組みを行ってゆきたいと思っております。

震災・政権交代以降、我々の業界は以前にもまして注目を浴び、その重要性が認められるようになりました。災害は忘れたころにやってきます。避けることのできないことは受け入れるしかなく、当協会の理事でもおられる山崎先生が言われている「地震・断層に対する不安・誤解・風評の排除、本当の危険とはなにか」「地震は必ず来る、マスコミに踊らされない、脅しの防災から理解する防災へ」の知識の普及活動が我々に求められる重要な事と考えます。

我々は地質コンサルタントとして正確な情報を発信しなければなりません。東京の地質を知り尽くした我々だからこそできる「ジオドクター」としての技術を示しましょう。

益々の協会活動にご理解と御協力のほど、よろしくお願いいたします。

● 会議報告等

○ 第30回通常総会

去る5月20日(火)、測量地質健保会館7階大会議室において第30回通常総会が開催された。当日は会員数22社に対し、21社が出席(うち委任状提出2社)し、議案が審議され異議なく承認された。

< 議案 >

- (1) 平成25年度事業報告承認の件
- (2) 平成25年度収支決算報告及び監査報告承認の件
- (3) 平成26年度事業計画(案)承認の件
- (4) 平成26年度事収支予算(案)承認の件
- (5) 役員改選の件

協会理事は5月総会にて任期満了となり、改選の結果、以下の通り決定承認された。また、総会後の理事会において、会長、副会長の互選及び各委員会委員長が決定された。

理事 (10名)

任期: 2年(平成26~27年度)

< 内部理事 >

会長	網代 稔 (㈱ダイエーコンサルタンツ)
副会長	長谷川俊彦 (大和探査技術㈱)
技術委員長	西原 聡 (中央開発㈱)
広報委員長	神馬 誠 (基礎地盤コンサルタンツ㈱)
総務委員長	赤澤 元重 (川崎地質㈱)

< 外部理事 >

山崎 晴雄	(首都大学東京 大学院都市環境科学研究科 教授)
若松加寿江	(関東学院大学 理工学部 教授)
桑原 文夫	(パイルフォーラム㈱ 取締役 副社長)
塚本 良道	(東京理科大学 理工学部 教授)
片山 浩明	(東邦地下工機㈱ 企画開発本部 開発部 次長)

※ 法令遵守の説明会

赤澤理事より法令遵守の社会的使命について説明があった。

※ 総会后、東邦地下工機(株) 片山浩明氏(当協会理事)より、「ボーリング作業における特別教育—管理する立場で—」について、ご講演いただいた。

< 総会風景 >



網代新会長挨拶

< 講演会風景 >

講師: 東邦地下工機(株) 片山浩明氏



< 懇親会風景 (於: 鳥どり) >



○ 理 事 会

1. 平成 25 年度 第 4 回

日時：平成 26 年 2 月 19 日（水）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 平成 25 年度事業収支見込について
- (3) 平成 26 年度事業・収支編成方針について
- (4) 災害協定に基づく支援実施体制について
- (5) 平成 25 年度防災展(東京都主催)について
- (6) ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会(春期)について
- (7) 行事補助(関東協会)について
- (8) 転載許諾願いについて(技術ノート No. 41, 地盤工学会)
- (9) 冊子「独占禁止法ガイドブック」の会員配布
(平成 25 年 12 月)
- (10) 総務委員会関係
 - 1) 東地協ニュース 26 号 企画案
- (11) 広報委員会関係
 - 1) 委員の交代
(前) 山口真佐爾 氏 (大和探査技術(株))
(新) 松浦弘之 氏 (同 上)
 - 2) 委員会報告(平成 26 年 1 月 23 日)
- (12) 関東協会・第 8 回理事会 報告(平成 26 年 1 月 30 日)
- (13) 全地連・第 4 回代表理事・業務執行理事連絡会議 報告
(平成 26 年 1 月 8 日)
- (14) 収支報告(平成 25 年 11 月～平成 26 年 1 月)
- (15) 各種団体総決起大会(都議会自民党) 報告
(1 月 27 日, 29 日)
- (16) 受注動向調査表

2. 平成 26 年度 第 1 回

日時：平成 26 年 4 月 16 日（水）

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 平成 25 年度収支決算報告について
- (3) 平成 26 年度事業・予算案について
- (4) 第 30 回通常総会の進行について
- (5) 会員の加入促進について
- (6) 関東協会の一般社団化の検討について
- (7) 技術ニュース No. 84(関東協会)の執筆依頼について
- (8) 総務委員会関係
 - 1) 東地協ニュース 26 号について

(9) 技術委員会関係

- 1) ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会 報告
(4 月 12 日, 13 日)
- 2) 平成 26 年度第 1 回委員会報告(4 月 9 日)
- (10) 東京都主催「防災展」報告
(3 月 11 日～12 日 於：アキバ・スクエア)
- (11) 平成 25 年度 東京都 CALS/EC 推進協議会 報告
(3 月 26 日)
- (12) 鈴木隆道都議会議員(協会顧問)「講演と都政報告の夕べ」 報告(4 月 9 日)
- (13) 平成 26 年東京都・杉並区合同総合防災訓練について
- (14) 災害協定に基づく支援実施体制について
3 月 28 日 実施計画書を提出
- (15) 平成 26 年度東京都予算要望に対する回答について
- (16) 収支報告(平成 26 年 3 月)
- (17) 関東協会・理事会 報告(4 月 14 日)
- (18) 全地連・事務局長会議 報告(3 月 6 日)

3. 平成 26 年度 第 2 回

日時：平成 26 年 5 月 20 日（火） 総会前

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 第 30 回通常総会について
- (3) 東京都・杉並区合同総合防災訓練(8 月 30 日)について
- (4) 総務委員会関係
 - 1) 東地協ニュース 26 号について
- (5) 広報委員会関係
 - 1) 東京都都市整備局「東京都 建物における液状化対策ポータルサイト」について
- (6) 技術委員会関係
 - 1) 臨時環境部会 報告(5 月 1 日)
- (7) 収支報告(平成 26 年 4 月)
- (8) 大塚たかあき君を励ます会(協会顧問)について
- (9) 関東協会の一般社団法人化に関する
- (9) 全地連・第 1 回理事会 報告(4 月 25 日)
- (10) 地盤判定士の受験資格について

4. 平成 26 年度 第 3 回

日時：平成 26 年 5 月 20 日（火） 総会后

- (1) 会長・副会長の互選について
- (2) 各委員会委員長の決定

☆ トピックス (協会行事紹介)

◎ 防災展 2014 ～東京が直面する危機への備え～
(於：秋葉原 UDX ビル 2 階 アキバ・スクエア)



東日本大震災から3年目を迎え、東京都は平成26年3月11日(火)～12日(水)の2日間にJR秋葉原駅徒歩2分の秋葉原UDXビル2階 アキバ・スクエアにおいて「東京が直面する危機への備え」をメインテーマに防災展を開催しました。

東京都は毎年都民や事業者の自助、共助の取組みや東京都の防災対策についての理解を深めてもらうために「防災展」を開催しています。本年は昨年台風被害を受けた大島町や東日本大震災から3年を迎える東北の復興を願い、支援イベントとして復興写真展と特産品販売が行われました。

関東地質調査業協会、(一社)東京都地質調査業協会では、地震被害事例のパネルと中央開発(株)ご提供の「液状化現象の剥ぎ取り断面」を展示しました。また土地条件図「大地の解体新書」・表層地盤ゆれやすさマップを使って来場者の宅地の診断断を行い、その周辺の地盤状況を解説し、その土地条件図と、出力の見方を記載したパンフレットを一緒にお渡ししました。

イベント開催を案内する掲示が周辺に全くなく、説明員の多くも会場に着くまで迷いました。駅に近いとはいえ会場が分かりにくいと、いったいどの程度の入場者があるのか不安でした。しかし東京都

内ばかりか、千葉県勝浦市、神奈川県横須賀市など遠方からお見えの方もあり、最終的に宅地診断コーナー利用者は2日間で117名ほどありました。例年より利用者が少ないため、1人当たりの解説時間はたっぷり確保でき、訪れた方には十分満足していただいたものと思います。

初日の3月11日には、会場の大型画面に武道館で開催されている政府主催の追悼式の模様が映し出され、14時46分に合わせて出席者全員で1分間の黙祷を捧げました。

また他ブースでは東京都の帰宅困難者対策や自衛隊・警察・消防の防災・危機管理対策が紹介され、災害用伝言サービスやSNSを活用した連絡手段の体験もできました。



(技術副委員長 太田 智之)



◎ 平成 26 年度ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会
(春期 ・ 4 月 12 日～13 日)

この講習会は当協会の地質踏査技術の向上に関する事業の一環として東邦地下工機株式会社様(東京都品川区)にご協力いただき実施している。受講者は協会会員に留まらず多方面からニーズがあり、毎年2回開催しているが、定員を超える応募があるため今回は座学の会場を変更し定員増加に対応し、参加人数は会員12名、非会員25名の計37名となった。

講師は昨年と同様に当協会、片山浩明理事ほか東邦地下工機(株)の職員2名のご協力によって行われた。

講義内容は、1日目に学科講習、2日目は実技講習に分かれており、学科講習はボーリングマシンに関する知識(基礎知識・構造、運転及び点検・整備)、マシンの運転に必要な一般事項に関する知識(施工・力学と電気)および関係法令・災害事例等である。

学科、実技ともに普段の作業に生かされる内容であり、学科では、関連法規など特別教育の沿革やマシン運転・作業の中にどのような危険性がはらんでいるのか、繰り返し細やかな講義が続いた。実技では、実際のボーリングマシンを使いロッドの上げ下ろしやマシン操作時の潜んだ危険性等について実践的な講義が行われ、和やかな雰囲気の中にも時に檄が飛び、各参加者は真剣に取り組む様子うかがわれた。

実技講習終了後、2日間受講した全員に修了書の授与が行われ、講習は無事終了した。現場作業での安全・安心を確保するために多くの知識を獲得できる場として、今後も継続して開催していきたいと考えている。

(技術副委員長 太田智之)

<1日目 学科講習>



<2日目 実技講習>



◎ 災害時における設計、測量、地質調査等の応急対策業務に関する協定（東京都との災害協定）

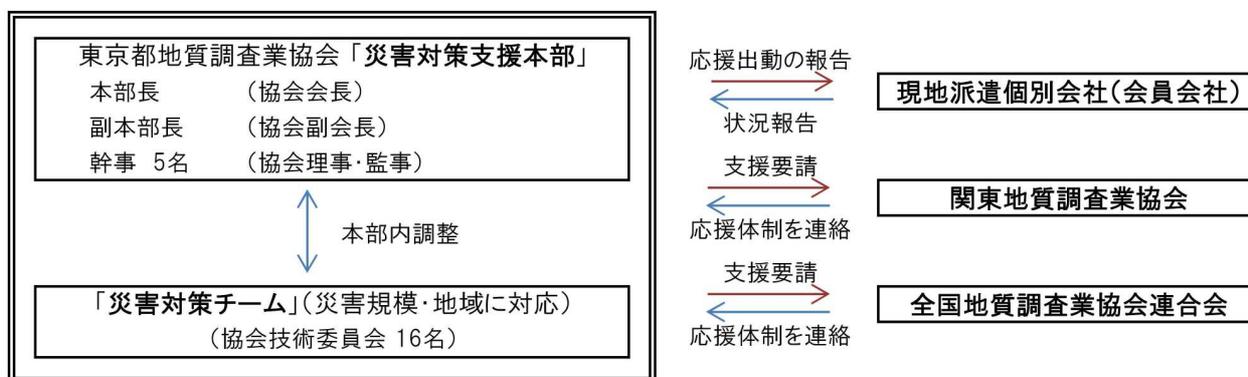
平成 25 年 6 月 25 日に東京都と締結した災害協定の「実施体制表」作成のため、会員の皆様には昨年 12 月に支援実施体制に関するアンケートへのご回答をお願い致しました。アンケート集計結果により、災害時緊急連絡網並びに技術支援可能人員一覧表（編成表）を取りまとめ、連絡系統図とともに東京都へ提出致しました。

また、実施体制、連絡系統、会員については毎年 7 月 1 日付けで更新することとなっており、同様のアンケートを毎年実施させていただきますので、ご協力のほど、お願い申し上げます。

なお、協会の連絡系統図は下記のように決定いたしました。

◇ 東京都地質調査業協会 連絡系統図 ◇

【 東京都地質調査業協会 連絡・指示体制 】



【 担当グループ 】

< 所管グループ A >

[第一建設事務所, 第五建設事務所, 第六建設事務所, 江東治水事務所, 土木技術支援・人材育成センター]

川崎地質(株), 基礎地盤コンサルタンツ(株), (株)キタック, (株)建設地盤, 興亜開発(株), (株)地盤試験所, (株)大東地質, 大洋地下調査(株), 大和探査技術(株)

< 所管グループ B >

[第二建設事務所, 第三建設事務所, 第四建設事務所, 東部公園緑地事務所]

応用地質(株), 総合地質調査(株), 千葉エンジニアリング(株), 中央開発(株), 中央建鉄(株), (株)東京ソイルリサーチ, 日本物理探査(株)

< 所管グループ C >

[西多摩建設事務所, 南多摩東部建設事務所, 南多摩西部建設事務所, 北多摩南部建設事務所, 北多摩北部建設事務所, 西部公園緑地事務所]

(株)地盤調査事務所, (株)セントラル技研, (株)セントラルソイル, (株)ダイエーコンサルタンツ, (株)ダイヤコンサルタント, (株)東建ジオテック

♪ 賛助会員 PR コーナー

<第6回> モニー物探株式会社

モニー物探株式会社**北海道から沖縄まで 土木物探一筋35年 安全、迅速、確実にモットーに**

弊社は土木物理探査業務を専門とした地質調査業を(1979年)に創立いたしました。

以来北海道から沖縄まで、多くの事業(新幹線,高速道路,発電所等)に携わって参りました。

これもひとえに御依頼者・発注者様各位の御指導、ご援助の賜物と思っております。

1990年代まで国土開発事業が数多くなされましたが、近年は点検、保守、災害防止に重点が置かれ公共事業建設重視だけでなく、地震や水害、自然災害それに伴う土石流、地滑り等の可能性の有る部分を最小限に留めるため、我々の調査は必要になるものと考えています。

当社が行っている物理探査、物理検層は全国各地から御依頼頂いており、規模の大小に係らず誠心誠意で実施致してます。

特に高精度表面波探査は2002年の発表以来、数多くの測定作業,解析業務を実施しています。

又火薬を使用する弾性波探査は安全、安心、確実にモットーに多数の業務をこなしており、大規模探査も多成分を配置して直営で実施できる業者と自負しています。

コンピュータ技術の発展は測定機器及び測定方法、解析まで求められるものは簡素化高度化しています。現場の状況は100箇所あれば100箇所すべてが違いますが状況に応じた最善の手法・手段を選択してデータを取得し、高品質な解析結果を提供する事をモニー物探(株)は約束いたします。

MONYの約束

◎私たちは、“調査の原点は現場での的確なデータに有る”ものと常に考えてます。

◎私たちは、安全を第一に、的確且つ迅速な現場作業に励みます。

◎私たちは、顧客第一に考えます。

◎私たちは、最新の技術を先取りして日々研鑽し技術向上を図ります。

◎私たちは、国土の発展、環境保全、社会発展の為に努力します。

※営業科目

◎高精度弾性波探査	◎高精度表面波探査	◎高精度電気探査
◎微動アレイ探査	◎地温探査	◎垂直電気探査
◎PS検層(SUS及び板叩き)	◎温度検層	◎電気検層
◎密度検層(新線源コバルト60)◎キャリパ検層		

〒175-0083

東京都板橋区徳丸1-56-4 TEL 03-5398-6831
モニー物探株式会社 FAX 03-5398-6832

代表取締役 餅田耕司 E-mail:mony@syd.odn.ne.jp

専務取締役 長尾 憲 <http://www2.odn.ne.jp/mony-geo>

■ 会員(正会員・賛助会員)動静

(1) 代表者変更

- ・ 応用地質(株) 東京支店
代表者：[新] 支店長 亀井 厚志 氏
[旧] 支店長 菅原 利夫 氏
- ・ (株)キタック 東京支店
代表者：[新] 支店長 相田 義徳 氏
[旧] 支店長 瀬戸 桂嗣 氏

住所、代表者、会社名等の変更がございましたら、お手数ですが協会事務局までご連絡をお願いします。(協会事務局 TEL 03-3252-2963)

▲ 行事日程

日程	行事名・内容等
6月11日(水)	(関東) 第51回地質技術講習会
6月13日(金)	(全地連) 道路防災点検講習会
6月27日(金)	(東京) 第8回 土壌・地下水環境を取り巻く最新の話と分析機関見学
7月9日(水)	(関東) 経営講演会
7月12日(土)	(全地連) 地質調査技士 資格検定試験
7月22日(火)	(関東) 現場技術の伝承講習会
8月1日(金)	(関東共催) 災害復旧事業技術講習会
8月2日(土)	(関東) 地盤工学PR コンテスト (出展) (地盤工学会主催 児童向けセミナー)
8月23日(土)	(関東・東京)
8月24日(日)	そなエリア東京 防災イベント
8月30日(土)	(関東・東京)
予定	東京都・杉並区合同総合防災訓練
9月18日(木)	(全地連) 技術フォーラム2014・秋田
9月19日(金)	
10月 予定	(東京) ボーリングマシン安全衛生 特別教育講習会 (秋期)
10月31日(金)	(全地連) 第4回地質リスク事例発表会
11月19日(水)	(関東) 地質調査技士 登録更新講習会



・ 編集後記 ・

梅雨の季節がやってきました。ジメジメとしてあまりいい気分ではありませんね。今年は例年より3日早い6月5日に梅雨入りしました。

盛夏期に必要な農業用の水として蓄える重要な役割を担っている一方で、災害が発生しやすい時期でもあります。

当協会は、東京都と災害協定を結びいざというときには迅速な支援活動ができることを期待されています。

まあ災害等が起こらないことを祈りつつ、「エアコン」という文明の利器を活用して快適に梅雨を乗り切りましょう。

(S.S)



お店紹介

今回も都内(千代田区)の美味しいラーメン屋さん②です。秋葉原繁華街から少し離れた所に、東京へ進出してきた新潟の超有名ラーメン店があります。

生姜の風味がほんのり効いた、油少な目の濃口醤油が特徴で、東京では珍しい味ですが結構ハマります。

また、トッピングも豊富なので、お好みで様々なバリエーションが楽しめます。こちらも昼食時は結構な行列ができませんので、時間が無い方は13時以降がお勧めです。

店 名 青島食堂 秋葉原店
住 所 千代田区内神田佐久間町3-20-1
(秋葉原昭和通り口徒歩5分)
電 話 03-5820-0037
営業時間 11時30分~19時(火曜定休)

東地協ニュース 2014.6 第26号

発行・編集 一般社団法人東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<http://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail info@tokyo-geo.or.jp